

第15号特集！

課題研究発表会 & 併合科学学習発表会

毎年行われている課題研究発表会と併合科学学習発表会が2月6日に行われました。1, 2年生は自分たちが学んできたことやもっと知りたいと思ったことを発表し、3年生は1年間自分で課題を決め、それについてまとめたものを発表しました。3年生の課題研究については発表時間の10分では収めきれないという生徒もいるほど内容の濃いものになりました。これについて詳しくお伝えしていきます。

テーマ「少量多品目栽培の効率化」 白井勇斗

農林科の野菜分野で行っている、多くの品種の野菜を少量ずつ栽培する「少量多品目栽培方法」というものがある。これについてコンピューターを活用し作業の効率化を図ることを目的として取り組んだ。研究方法は、エクセルによる作業記録を付けられるようにし来年度以降も作業内容や時期に応じて作業計画を立てやすいようにした。また、野菜の品種を入力し栽培したい量などを入れると自動的に株間や畝間なども計算してくれるエクセル表を作成した。今後はこれを、スマートフォンと連動させどこでも簡単に記録が付けられるよう改善していきたい。



テーマ「めん羊がもたらす効果」 柳瀬聡子

今年度、農林科では初めて羊毛を目的としためん羊(コリデール種)を導入した。そこでまず、コリデール種に合う飼育環境を整え、さらにめん羊がもたらす効果を検証した。飼育環境の点では、羊を飼育するにあたって小屋の屋根を張り替えたり牧場の整備などを行い、環境を整備した。羊毛の点ではバリカンやはさみなどを使用し毛刈りを行った。羊毛の活用ではフェルトを作ったり、断熱効果の面から羽毛との比較実験を行った。羊のふれあい体験を行い、農林科のPRに繋げることもできた。



今回の発表会でのアンケートには、「どの発表も興味深いもので勉強になった。」「科ごとの魅力が存分に伝わる研究発表だった。」などの意見をいただきました。1, 2年生も課題研究が近づいていますが特に先輩から教わったことは「テーマを早めに決めて、計画的に研究を行うことがとても大切」ということでした。



祝 国際優秀つばき園認定！



農林科では昨年から取り組んでいました国際優秀つばき園の決定が、2月26日に正式に決定しました！教育機関では世界初ということでも嬉しい結果となりました。昨年の10月に国際ツバキ協会のジェニファー理事が大島高校のツバキ園を視察され、生徒達は本当に認定されるかと不安になりながらも精一杯椿園のガイドを頑張りました。また、先月19日から中国で農林科2年生の浜田くんが椿園について英語でスピーチをしました。こうした生徒の取り組みの結果がこの認定に大きく関わっているのではないかと思います。椿園の管理を含め校外との交流、そして椿ガイドを生徒と一緒に頑張っていきたいと思いますので、今後どうぞよろしくお願い致します。



～撮影の様子～

千葉テレビ



NHK国際放送



日本テレビ



椿ガイドでテレビ撮影

「千葉テレビ」、「NHK国際放送」、「日本テレビ」が生徒が椿ガイドをする様子を撮影しに来ました。生徒一人一人の好きな椿、自分達の椿の管理方法など、はきはきと答えることができました。大島にとって椿とは何か・・・など難しい質問も多いなか自分達で考え堂々と対応していました。まだ少し椿ガイドに慣れていない1年生と比べると2, 3年生の先輩ぶりは圧巻でした！これからの1年生の成長が楽しみです。

日本テレビでの放送は3月13日の朝6時放映予定なのでご覧ください。また3月末まで椿園を公開していますのでぜひ一度ご来園下さい。

発行：東京都立大島高等学校 農林科
東京都大島町元町字八重の水127
04992-2-1431
農林科ホームページ公開中
<http://www.osima-h.metro.tokyo.jp>